

- ①午前8時 訓練開始（大規模地震発生を想定）
- ・地区内18の自治会で事前に取り決めた集合場所に個別に集合
 - ・要支援者への安否確認の実施（民生委員は担当区域の区長に電話で安否確認を行う）
 - ②避難所への避難・開設訓練
 - ・参加者は、騰波ノ江小学校体育館に避難する
 - ・参加者は、段ボール仕切りと段ボールベッドを組み立てる



HUG実施の様子

7月2日（日）、騰波ノ江地区の防災訓練を実施し、避難所への参集や、開設、運営に係る訓練を行いました。主会場である騰波ノ江小学校には、騰波ノ江小学校教職員、騰波ノ江地区消防団員、住民などの120名が集まり、非常時対応への意識を新たにしました。

今回の訓練では、避難所の運営体験や、HUGを導入しました。これにより、一人ひとりの避難者に寄り添う連帯感を醸成でき、実践的な訓練となりました。

騰波ノ江地区 栗野新也

騰波ノ江地区で防災訓練を実施
— 自らの命は自らが守る。みんなの命はみんなが守る。 —

自治区連会報

第61号
編集発行人
下妻市自治区長連合会
広報編集委員会

令和5年度 自治区長連合会理事名簿

役職名	氏名	代表区	支部名
会長	栗野新也	福代地・神明	騰波ノ江（支部長）
副会長	吉川寛通	長塚西部	下妻（支部長）
〃	本橋勇夫	桐ヶ瀬	上妻（支部長）
〃	笠島昇治	原	高道祖（支部長）
〃	中久喜一之	蚕飼	千代川（支部長）
幹事	横瀬靖彦	横根	大宝（支部長）
〃	鈴木孝由	小島新堀	総上（支部長）
〃	國府田勝雄	加養	豊加美（支部長）
〃	内山勇	大町	下妻
〃	外山一夫	大木	上妻
〃	小貫幸夫	宗道	千代川
会計	平塚昌利	本城町	下妻
〃	市川富朗	四ヶ村	千代川
監事	遠藤豊	上宿	下妻
〃	横瀬晴夫	坂井	大宝
〃	浅野信之	鎌庭	千代川
理事	鈴木登紀雄	陣屋・旭	下妻
〃	山本誠	西町	下妻
〃	富岡博	新町・砂沼新田	下妻
〃	武田俊之	長塚中央	下妻
〃	山口秀雄	峰	下妻
〃	宮島一代	浦町	下妻
〃	澤部左敏	本宿	下妻
〃	山口則明	田町	下妻
〃	本橋孝夫	平川戸	大宝
〃	篠崎猛夫	福田	大宝
〃	中山勝美	数須・筑波島	騰波ノ江
〃	飯村純男	黒駒	上妻
〃	塚越惠基	半谷	上妻
〃	鳩貝雄	前河原	上妻
〃	安達健治	江	上妻
〃	宮田岩男	小島香取	総上
〃	飯塚和夫	柳原	豊加美
〃	平石文男	中台	高道祖
〃	飯田康之	原・羽子	千代川
〃	関口清夫	村岡	千代川
〃	中島嘉誠	皆葉西	千代川
〃	川端誠	本宗道	千代川
〃	古澤久男	別府新田	千代川
顧問	田崎光男		

※幹事以下の役職は「地区順」「各支部からの選出名簿順」となっています。

茨城県自治会連合会総会・表彰

5月26日、つくば市において、茨城県自治会連合会第31回総会が開催されました。その中で、次の方が県自連会長から表彰状を授与されました。おめでとうございます。

〇表彰 ※敬称略
(各市町村区長会等の正副会長で
区長在職10年以上)

柴森 孝夫
(下妻市自治区長連合会 副会長・
西町代表区長・自治区長10年)



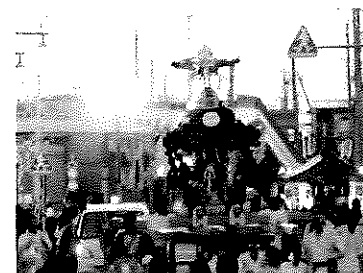
活動日誌

- ◆令和5年◆
- 1月25日 自治区連会報(第60号)発行
- 2月8日 県自治会連合会講演会
- 3月24日 理事会
- 4月28日 永年勤続者表彰式及び下妻市自治区長連合会総会
- 5月26日 県自治会連合会理事会・総会(於つくば市)
- 6月21日 役員会・広報編集委員会
- 7月5、6日 全体研修(於東京都有明、千葉県南町)
- 8月25日 自治区連会報(第61号)発行
- 10月1日午後 市長との対話集会(千代川中学校区) ※予定
- 10月14日午前 市長との対話集会(下妻中学校区) ※予定
- 10月14日午後 市長との対話集会(東部中学校区) ※予定
- 10月 小川川ふれあい公園花畑種まき作業 ※予定
- 11月 正副会長会議・役員会・広報編集委員会 ※予定

編集後記

自治区連会報第61号が完成しました。今回は、新型コロナウイルスが5類に変わり、地域の活気が戻り各自自治会での活き活きとした活動の様子を紹介しています。下妻市の西の玄関口、長塚地区では、文化遺産として伝承して参りました大人神輿渡御を実行委員会が中心となって盛大に実施しています。昭和3年に造られた長塚大人神輿を平成19年に修復し、1トン神輿が完成しました。毎年、地域の皆様の参加を得て、融和をはかり、渡御の喜びをともにする人々で賑わっていました。今年は、地元の若い力で4年ぶりに渡御をすることになりました。地域の皆様に感謝申し上げます。

これからも、下妻市の自治会の皆様の声や活動を伝える会報を作っていきたいと思います。どうか、今後とも、変わらぬご支援ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。



自主防災組織を作りましょう！

下妻市自治区長 永年勤続者表彰

地域社会の発展と市民福祉の増進等に寄与した功績により、12名の区長の皆さまが、永年勤続者として表彰されました。おめでとうございます。

〇表彰者 (5年以上勤続されている方)
※順不同・敬称略

- 遠藤 豊 (上宿代表区長・上宿第1自治区長)
- 斉藤 敏 (長塚東部代表区長・長塚1自治区長)
- 赤荻 稔 (西町2自治区長)
- 黒川由記男 (小野子2の2自治区長)
- 増田 直人 (新町南2自治区長)
- 手塚 英一 (砂沼新田自治区長)
- 大野 孝男 (長塚1沼淵自治区長)
- 三井 芳治 (長塚バイパス通り自治区長)
- 山中 清 (大宝代表区長・大宝常盤町自治区長)
- 山口 金光 (福田北部第二自治区長)
- 平出 礼一 (半谷下3自治区長)
- 高橋 誠二 (本田代表区長)

あなたの家庭の防災対策で実施したことは何ですか。(複数回答可)

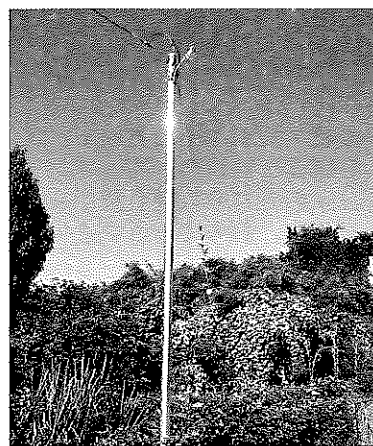
項目	割合
非常用飲料水の備蓄	50.2%
寝室に懐中電灯の用意	48.6%
非常用食品の備蓄	30.8%
避難場所の確認	25.9%
家具等の転倒・落下防止策	20.6%
防災情報メールに登録	17.1%
ハザードマップの確認	15.3%
非常用持出し袋の準備	15.1%
家族間での連絡方法の確認	12.9%
家屋の耐震化	8.2%
地区の防災組織に入っている	8.2%
特になし	9.2%

練となりました。参加した皆様のご協力に感謝するとともに、今回の訓練が備えのみで済み、実際の災害や被害が発生しないことを願います。

また、防災訓練に先立ち騰波ノ江地区では、地区の全世帯を対象に防災に関するアンケートを実施しました。総回答数は510件です。

最も備えが必要な災害の設問では、「地震」と回答する方が多かったです。しかし、回答を詳細に見ると、居住者の地域により回答に差が見られました。本地区には台地上の上郷と低地帯の下郷がありますが、下郷では「大雨・洪水」が圧倒的に多くなっています。騰波ノ江のみならず、下妻市にはさまざまな地形があります。ハザードマップなども参照しながら、災害に備

自治会活動に参加しましょう！



より良い自治区作りを目指して — 総上支部 —

総上地区では、コロナ禍による4年間の自粛で自治会の行事が滞り、再結束してかつての行事を行うにしても、さまざまな問題により実施出来ない地区もある様です。

当小島新堀自治区は60戸ですが、低予算に依る、ゴミ集積所への不法投棄対策等、自治会子供神輿・備品の収納兼ねた集会場の建設、防犯灯・防犯カメラの設置、後継者不足等の課題を地区住民の意向を取入れ、諸先輩の指導の下、改善・結束に努め、自治運営を行いたいと思います。

お花畑ときずな — 豊加美支部 —

柳原地区では、令和元年9月下旬～10月初旬にかけて、茨城国体が開催され、柳原球場入口の畑に、コキアを植え付け歓迎したのが縁で毎年柳原常会にて植える花を決めて、地域住民で助け合いながら、各班にて除草作業や、水やりの手入れをしています。

花畑には各班の奉仕作業により、マリーゴールド、コキア、コスモスなどが植えてあります。

柳原球場入口の花畑を見に来てください。



筑波山 — 高道祖支部 —

私たちの住む東原地区は、高道祖地区の中でも東の端にあり、筑西市（明野）とつくば市（作岡）に隣接しており、周りにははかり団地やSMCなどの工場があり、比較的新しく開発された住宅地です。

そのため、名所旧跡などはありませんが、自宅近くからの筑波山の眺めは最高です。近距離ということで迫力もあり、また四季折々の景観が素晴らしいところです。



「鎌庭青龍會」の名称の由来 — 千代川支部 —

「鎌庭青龍會」は、鎌庭3地区在住・在勤・出身の16歳以上の者で構成されている神輿会です。この「青龍」は、鎌庭東公民館敷地の青龍権現社旧社に由来します。

同地には、代々守り続けてきた7本の御神木がありましたが、戦後すぐの大形中学校新校舎建設の際、鎌庭地区の負担金を賄うためやむなく伐採し売却しました。この話は、同敷地内にある青龍権現老樹碑にも記録されていますが、こうした歴史や祖先への思いから決まった名称が「鎌庭青龍會」です。今年の夏祭りが盛大に開催できることを願っています。



自治会活動に参加しましょう！

自治区長連合会全体研修に参加して — 下妻支部 —

4年ぶりに自治区長連合会全体研修を実施しました。今年は、防災体験学習施設の「そなエリア東京」で、地震災害後の支援が少ない時間を生き抜く知恵を学ぶ「東京直下72時間ツアー」を体験しました。

いつ起こるか分からない、大地震や風水害など、大規模な災害から自分達の身を守るためには、一人ひとりが災害に備える「自助」、地域の住民が協力して災害に備える「共助」が重要であることを学びました。

今回、体験してきたことを地域に役立てていきたいと思っています。



「コロナ禍の堀籠神社、秋祭り事情」 — 大宝支部 —

堀籠神社では毎年11月の23日に秋のお祭りが開催されています。

コロナ前は神主さんのご祈祷、子どもたちへのお菓子配り、御札と紅白菓子の配布、40人前後が参加しての祭宴などで、地区の皆さんの親睦を図ってきました。ここ3年ほどはコロナ禍でそういった集まりもできずにご祈祷だけの祭礼になってしまいました。

今年こそは、久しぶりに皆が集まって楽しく家庭や地区の繁栄を語り合える祭礼の日が迎えらることを願っています。



花の力を借りて自治会創り — 騰波ノ江支部 —

下宮地区は、下妻市の北端にあり、筑波山を眺めることが出来る田園地帯にあります。昨今の下宮自治会ですが、コロナ禍の影響を受けて自治活動の自粛が続く寂しい3年間でした。

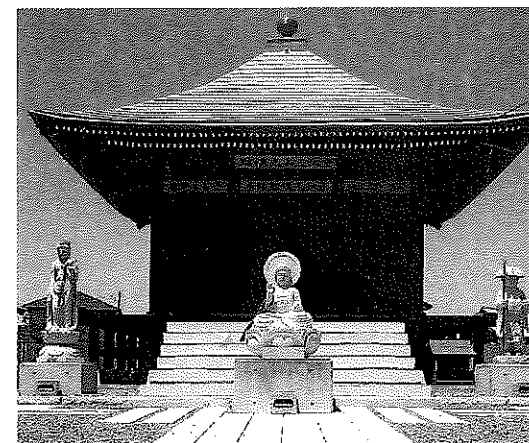
一日も早い活動の再開が望まれていた中で、去る6月及び7月の日曜日に農村保全協議会メンバーの協力を得て、コミュニティセンター内の花壇に、サルビア、ポーチュラカ、菊、また、近くを走る国道294号線側道法面に菊の植栽活動を行いました。地区の皆さんの活動がコミュニティ創りの一助になればと願いつつ、これからの夏まつり、年末年始の様々な活動で以前の様な賑やかな下宮自治会を期待しています。



薬師堂修復工事完成 — 上妻支部 —

東日本大震災による被害から12年余りに亘りブルーシートと足場で覆われていた薬師堂ですが、昨年11月から開始した修復工事が完了し、6月18日竣工式典を催しました。元々は三堂揃っていましたが、観音堂と大師堂を薬師堂に集約しました。

290年近い歴史のある弘法大師空海や瑠璃光如来、観世音菩薩など一同に鎮座してあります。また境内も広くなりました。今後も皆様方の無病息災と御多幸をお祈り申し上げます。



自主防災組織を作りましょう！